

【 議 事 録 】		作成
令和6年度 第1回 こども部会		林
日時	令和6年6月19日（水）10:00-	
場所	広陵町総合保健福祉会館（さわやかホール）	
出席者	高橋（葛城社協）、江口・小野（葛城こ若）、渡辺（葛城市）、粕谷（高田社協）、辻本（高田社協） 佐藤・小野（しえ〜く）、秋本（ふわら）、辻（高田市）、大竹（もちつもたれつ）、谷本（葛城育成会） 原田（西和養護）、中村・河内（どんぐり）、松崎（香芝市）、河股（香芝市）、岸本・松永（広陵町） 小細・林（愛の集い） ＊順不同＊	
次第	内容	
参加者自己紹介	・部会長と今年度より副部会長を置いたことを報告。 ・上記出席者の紹介	
今年度の検討課題について	＊要対協の構成メンバーや虐待事案について各市町の現状報告。 ・その中で、”一時保護された後、家庭復帰”のところで、家庭の状況が変わっていない中で、家庭へ返すケースもある。 ・学校としては、体のチェックなどはするが、学校としてどこまで対応するのかを明確化していきたい。 ・通告の判断が難しい。そもそも一時保護とはどういうものなのか。 ＊中核機能強化加算について ・各市・町に問い合わせが1～2件あった。請求があがってから連絡をした事業所もあった。部会に参加したいという話もでていた。 ・児童発達支援、放課後等デイサービス事業所の協議会への参加について、今後どのようにしていくのかを考えていく必要もある。 ＊大和高田市の相談支援部会では、年に1回座談会をして、顔合わせをする機会を設けている。そのような回があってもいいのではないかな。 ＊Ｑ－ＳＡＣＣＳの説明会があった。Ｑ－ＳＡＣＣＳについての話をする機会があってもいいのではないかな。 ＊前年度に、『各ライフステージにおける障がい児を支える地域資源』を配布したのみで、内容については話をしていない為、深めてもいいのではないかな。 ＊特別支援教育のセンター的機能の役割として、会議の中で教育の方向性を確認する場があった。（センター的機能とは・・・専門性を生かし、園・学校における一人ひとりの教育的ニーズに応じて適切な支援を行うことが出来るよう、地域における特別支援教育の推進・助言を行っていくこと。） ＊今年度の法改正後、事業所での困りごとが増えているのではないかな、その辺りの調査をしてはどうか。	

<p>その他・感想</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス利用の申請時、5領域11項目の聞き取りが、20項目に変わったが、どのように聞き取りをしているのか教えて欲しい。 ・学校の人材不足、支援級の崩壊、体制が整っていてもうまくいかせていない等、課題はたくさんある。それぞれの学校の差も感じる。学齢期の中に出来ることを考えていきたい。 ・連携の壁を感じた。連携する仕組みを考えたい。 ・ケースに対する関わり方を学びたい。 ・適切な支給決定が出来ているのか、判断が難しい。 ・教育関係、子どものことで関わっている関係機関と、顔つなぎの会があると良いのではないかな。 ・楽しい部会にして欲しい。 ・連携するには、こつこつと出向いていくことが大切だと思う。
<p>次回</p>	<p>R6年8月14日(火) 10:00- さわやかホール</p>